

# カルストの風

令和3年9月発行  
美祢市学校事務共同実施会  
じむだより 第67号  
大嶺豊田前グループ担当

2学期が始まりました。残暑が続きますので、体調管理に気をつけましょう。

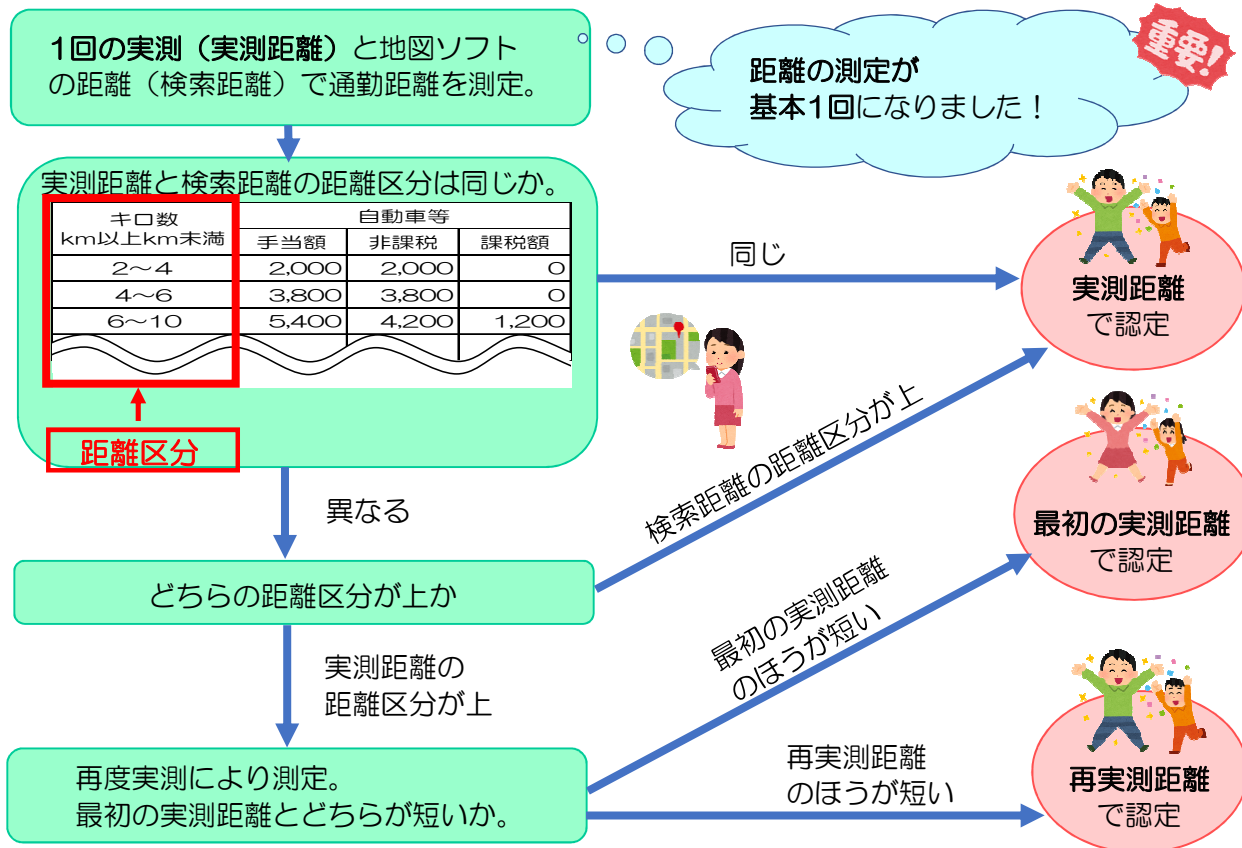
今回は、「通勤手当」「夏季休暇」「研究大会の発表」について取り上げました。

**NEW**

## 通勤手当における距離の採用方法



令和3年4月1日より、通勤距離の採用方法は下記のフローチャートのようにになりました。



**NEW**

## 夏季休暇の新設



これまで職専免の扱いとしてきた「夏期厚生計画」を廃止し、特別休暇に「夏季休暇」を新設。

### 夏季休暇（新設）

特別休暇の扱い。特別休暇には、主に国民としての権利の行使または義務を行うことについて、正当性が認められるものや、社会慣習や仕事と生活の調和の推進から勤務に就かないことについて妥当性が認められるものなどがある。

### 夏季休暇の内容【常勤職員】

- 付与日数 4日（短時間勤務学校職員は2日）
- 取得期間 7月～9月までの期間内
- 取得単位  
必要に応じて1日、半日又は1時間  
残日数に1時間未満の端数があるときは、すべてを使用することが可能

※【会計年度任用職員】は勤務日数に応じて付与

夏季における健康増進  
や家庭生活の充実を図るとともに、柔軟な働き方を進めるため新設

### 夏期厚生計画（廃止）

職専免の扱い。職専免は、公務優先という基本原則に対する限定的・例外的な特例である。

# 山口県公立小中学校事務職員研究会 研究大会で発表しました!!

県事研の第53回研究大会において、美祢支部が分科会の発表を行いました。



## 第2分科会（美祢支部）

「学校・地域連携カリキュラムを知って！考えて！作って！つむごう！！」

～ 地域に開かれた教育課程と教育資源をマネジメント ～

指導助言者 萩市教育委員会学校教育課 課長 山根 昌浩 様

期 日 令和3年7月30日（金）  
会 場 ラポールゆや（長門市）  
年次別研修テーマ 「つむぐ 学校財務運営と教育課程」



### 導入

・美祢支部のこれまでの研修、分科会テーマ「学校・地域連携カリキュラム」の設定理由を説明。

### 講演

・「“チーム学校”の一員としての学校事務職員をめざして」と題して指導助言者にご講話いただきました。

### 実践発表

・「学校・地域連携カリキュラム」に「教育資源」を追記する。  
・教育活動に必要な予算等の見通しが立てやすくなる。  
・美祢市内の学校で、この取組を実践した事務職員の例を紹介。



指導助言者

### 共有タイム

・仮定の「学校・地域連携カリキュラム」から、必要な「教育資源」を想定し参加者が記入。  
・記載したカリキュラムを発表するなど、全体で意見交換。

### 講師 講師 講師

・管理職と教員、学校事務職員、保護者、地域、行政による「時間対効果」「費用対効果」の検証が最大限の教育効果につながる。

## ～ 当日の様子 発表者の感想 ～



美祢支部 発表者

1年延期の研究大会で、内容が古くなっているのではないかと不安でした。

当日、直前の会が延びてしまい、分科会の時間が短くなったが、指導助言者の山根先生のお力により、予定どおり終わることができてよかったです。



休憩中に参加者の発表を協議



美祢支部 学校での取組を紹介

発表は、とても緊張しました。自分の取組の紹介が、みなさんの今後に役立つといいなと思います。

## まとめ と これから・・・

「学校・地域連携カリキュラム」に注目した、今回の研修は、学校全体の流れや、一つ一つの行事で学校事務職員としてどのように関わられるかを考えるよい機会となりました。学校のめざす児童・生徒像を教職員や保護者・地域と共有することや、時間対効果と費用対効果の両方を考えることなどを学びました。

今後、各学校において、実際にどのように関わっていけるかが課題です。「学校・地域連携カリキュラム」を見て、自分で考え、しっかり教職員とコミュニケーションを取って、計画的に効果的な教育資源をマネジメントすることが大切です。自らの資質能力の向上を図り、教員と協働し、ともに教育活動を支えていきたいと思います。